

令和7年度前学期 社会人公開授業

科目名	教養の環境学（里山と水辺の環境学）
開設学校名	岐阜大学
講師	地域協学センター 助教 伊藤 浩二（いとう こうじ）
初回予定日	2025年4月15日（火）
授業時間	毎週火曜日 2時限目 10時30分～12時00分（全15回）
主会場	岐阜大学柳戸キャンパス 全学共通教育講義棟 コモンズ 1A
聴講方法	対面授業
科目内容	<p>私たちにとって身近な自然である里山や水辺は、長い歴史の中で人間の干渉を受けながら形づくられてきた自然生態系（二次的自然）です。その成り立ちと人間活動による影響、里山や水辺の社会的効用を理解することは、21世紀における人と自然のよりよい関係を構築する上での基本的なリテラシーとなります。</p> <p>本科目では人と自然の関わりに着目しながら、日本の身近な自然の環境について理解し、将来に引き継ぐために必要な方策について思考を深めることをねらいとします。</p>
注意事項	学年暦より5月2日（金）は本講義があります。

授業の開催日程

回	日付	講義テーマ
第1回	4月15日	ガイダンス 里山・水辺とは？大学での学びについて

〈パート1〉里山の環境学

第2回	4月22日	里山の成立と変遷
第3回	5月2日（金）	生態学的にみた里山
第4回	5月13日	里山管理を「ぼくらの里山いきものゲーム」を通して考える
第5回	5月20日	自然の恵み（生態系サービス）とは①
第6回	5月27日	自然の恵み（生態系サービス）とは②
第7回	6月3日	SATOYAMA は世界共通語（世界農業遺産、里山イニシアチブ）

〈パート2〉水辺の環境学

第8回	6月10日	河川の環境学～里川という考え方（世界農業遺産「長良川の鮎」）
第9回	6月17日	河川の環境学～森里海の連環を「ウナギいきのこりすごろく」を通して考える
第10回	6月24日	海岸・干潟の環境学～里海という考え方
第11回	7月1日	水田・湿地の環境学

〈パート3〉里山と水辺に関わる社会的実践

第 12 回	7 月 8 日	グリーンインフラの活用と里山・水辺
第 13 回	7 月 15 日	行政の課題と取り組み～里山を地域活性化に生かす
第 14 回	7 月 22 日	企業・NGO の課題と取り組み～持続可能な購買活動と里山里海保全
第 15 回	7 月 29 日	市民活動による保全～モニタリングとその保全への活用

※ 講義タイトル、順序については変更の可能性があります。

【参考文献】

里山については日本生態学会が出版した「エコロジー講座7 里山のこれまでとこれから（PDF 版）」が無料で読むことができます。写真も多くわかりやすいので一読をすすめます。<https://www.esj.ne.jp/esj/book/ecology07.html>

